

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 23 年 2 月 21 日(月)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 30 分
会議名	上田中央地域協議会(平成 22 年度第 11 回)		
出席者	小林会長、宮本副会長、浅井委員、飯島委員、伊藤委員、河田委員、神林委員、 久保田委員、栗内委員、佐藤浩委員、佐藤智恵子委員、塩入委員、中村委員、 松澤委員、宮島委員、安井委員、山田委員 (欠席委員)宮坂委員、村上委員、渡邊委員 (事務局)足立まちづくり協働課地域振興政策幹、 林まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査		
会議次第 1 開会(足立まちづくり協働課地域振興政策幹) 2 会長あいさつ <p>本日は地域まちづくり方針の見直しについて最終結論を出したいと考えている。4月15日以来、第3期中央地域協議会がスタートして11回目を迎える。その間、総合計画の地域まちづくり方針の見直しについて、行政側からの諮問を受けた。真剣にご討議いただき、その内容を皆さんにまとめていただいた。再度ご確認いただき、最終確定としたいのでご協力いただきたい。2つ目にわがまち魅力アップ応援事業の審査について、事務局から説明がある。各地域がまちづくりを進める中で、審査に当たっては公正・公平でなくてはならない。税金を使って事業を行っているので、来月の審査をするにあたり、委員としてこのことを忘れずに望んでいただきたい。</p> 3 会議事項 (1)「地域まちづくり方針」の最終案について <p>資料：「上田中央地域 地域まちづくり方針 答申案(新旧対照表)」 より事務局から説明</p> <p>新市の核となる都市機能の充実と中心市街地の活性化</p> <p>【主な意見等】 会長：異議がなければ、これで確定したいと思う。</p> <p>歴史的な資源を保全・活用したまちづくり</p> <p>【主な意見等】</p>			

委員： で「観光」を入れて、 で「観光」を取ってしまうのはなぜか。又、見直しの文言で、「観光振興」の言葉がなくなっているが、入れたほうがいいのではないか。

Bグループ：今までは観光振興の言葉が入っていたが、観光を中心でなく住民を中心にしたいということを主張しようと考えた。地域の歴史遺産をもう一度見直し、まず自分達が住んでいるところの魅力的な部分をもう一度確認し、その気持ちを育てたい。

会長：上田市民全体としては、自らの地域の歴史をご存じない方が多いと感じた。地元の皆さん方が、郷土の歴史を掘り起していくことはいいと思う。

市民や来訪者が安心して行き交うまちづくり

【主な意見等】

Bグループ：最初の文章は防犯対策を推進することが中心になり、範囲が狭すぎる。今回は安全安心に変え、地域住民の広がりの中で考えた。

委員：タイトルが安全安心とするとこれでいいが、これまでの来訪者へのおもてなしの心が全面的にカットされている。どのような理由で削ったのか。

Bグループ：観光客を対象にまちづくりを進めているのではなく、自分たちが中心という部分を主体にしたい。自分達だけでなく、「すべての人」という表現の中に来訪者も含まれる。

委員：おもてなしの心は思いやりの心につながるので、使った方がいいのではないか。

委員：「すべての人々が安心して行き交える」と入っているので、いいのではないか。

委員：いらした方すべての人たちが安心して心地よく行き交える、という簡潔な文言だがそういう意味合いがある。住む人たちの満足度が得られないと、まちづくりにはならないのではないかという考えが、大前提となる。

委員：では観光が入っているが、 と でその部分を削って、住民中心というのは、自己中心的に感じる。何か一言入れたほうが、来訪者にも安心感を与えるような文章になると思う。

委員：中央地域としてのまちづくり方針全体のバランスが必要だと思う。 と は自己中心的な感じがする。全体を終えてからバランスを見てはどうか。

会長：では、先に進んでから改めてご意見をいただく。

自然環境の保全と共生によるまちづくり

【主な意見等】

委員：文言に「市街地では」と入っているが、市街地と限定してもいいのか。

委員：千曲川を活かした方がいいと思う。市街地にこだわらない言葉を入れてはどうか。

保健福祉活動拠点の整備と人的資源の活用

【主な意見等】

会長：先月も長野病院の院長先生にお越しいただき、お話を伺った。医療問題も避けては通れない問題だ。

委員：この文章でいいと思う。

地域コミュニティを中心とした協働による地域を誇れるまちづくり

【主な意見等】

Cグループ：少子高齢化が思った以上に進んでいる。その点を考えて進めてきた。

委員：「自治会をはじめとした各種団体」を「自治会をはじめとした地域コミュニティ」と言い換えたことに、何か意味はあるのか。地域コミュニティ自体、わかりにくい。

委員：地域活動の核は自治会であるという意見が強かった。各種団体とは何か。地域コミュニティ・地域の中のお互いの交流・連帯をしていくには、自治会活動も含めて大切ではないか。防災機能としても、何かあったときに助けられるのは地域の仲間になる。それも含めて議論した。

会長：自治基本条例の検討の際に、自治会への参画を強く訴えてきたつもりだ。日常活動のほとんどを自治会に委ねていることは、行政から見ても間違い無いと思うが、そのことが自治基本条例で完全にカットされた。タウンミーティング等でも皆さんから、自治会を中心としたまちづくりを行うようにというご意見を、全市的にいただいた。今回自治基本条例には自治会が出てこない。大きなギャップがある。

委員：地域コミュニティの最たるものは自治会だという位置づけのもと、このように考えた。

委員：同感だ。

会長：上田の自治会は他の松本や長野の自治会とは意味が違う。長野・松本の自治会長は、市長からの委嘱になる。上田市は独立独歩でやっている。市民はほとんどご存じないと思う。それでも自治会連合会は行政に協力している。そのことを市では酌んでいただいている。

産学官連携支援施設や伝統工芸など地域の特性を生かした産業の振興

【主な意見等】

Aグループ：蚕都上田という部分を売り込む。地産地消の推進を特に加えたい。

会長：この文章でよろしいか。では、これで進める。

まちづくり方針の全体を見て

【主な意見】

委員：と だが、最初の文面がどちらも「少子高齢化」になっている。このバラン

スはどうか。

委員：医療や保健福祉で言っている意味と、地域コミュニティなのでいいのではない
か。

委員：を「少子化」にしてはどうか。

会長：を「少子化が進む中」に入れ替える。

のところのご意見がそのままになっているが、いい文面は無いが。

委員：「安心して」を先ほどのホスピタリティな「おもてなし」等の言葉に置き換えて
はどうか。

Bグループ：おもてなしの心を入れたいという気持ちはわかるが、すべての所に観光
を中心としたまちづくりができてきている。では住民自治やまちづくりに参加し、
意識しようということが基本になっている。旧の文面では、すべてが観光につな
がっているニュアンスが感じられるので、今回は安心・安全なところへお客様に来て
いただくという考え方だ。

会長：市長が念頭に「絆」づくりについて話した。の文言に「ボランティア・P T
Aなどの連携と『絆』を深め」という言葉をいれたらいいのではないか。

委員：を議論しているが、とも通じるところがあると思う。も自治会が連携し
てまちづくりをするという意識が無い限り、安心安全なまちづくりは支えていけれ
ないと思う。

委員：中央地域全体の地域まちづくり方針となった場合に、これを元にして誰が何を
するのかというときに、自治会が主体となり、行動する。そこに落とせるような文
言でなくてはいけない。

委員：と の両方から観光を取ってしまうのは、どうかと思う。をこの形にする
のであれば、に観光振興という言葉を入れてはどうか。歴史的資源は、よそから
来ていただき、見ていただきたい。

委員：入れるとすれば、「遺産との融合・調和と観光振興を図るまちづくり」となる。

Bグループ：基本的なコンセプトは、観光振興的な表現の見直しにある。観光が利潤
産業だということが全面的に推し進められ、色々なところで図られていることに、
住民は違和感がある。で商業的なものに対しては十分に表現されている。

Bグループ：観光振興が先にあるのではなく、住民自身が誇りを持ち、歴史遺産を認
識し、大事にする意識が育てば、自ずとそれが観光につながるのではないか。住民
自らの、住んで快適、満足度の高いまちづくりをすることが、これからの人たちに
魅力発信が出来るのではないか。住民がそのことに気づくことが大前提ではないか。

委員：まちづくりは住民がどう関わるかという視点をなくして、つくっても仕方が無
い。観光部分は他に入っているので、ここで入れなくてもいいのではないか。

会長：上田中央地域としての基本方針を固めなくてはならない。全市的には9つの地
域協議会があるので、その辺りとの兼ね合いを一度見ることも大事ではないか。他

とのバランスを見ながら事務局と相談して最終決定としたい。

(2) わがまち魅力アップ応援事業の審査について

資料：「23年度個性あるふるさとづくり事業一覧表」

「23年度特色あるまちづくり事業一覧表」

「平成23年度 上田市わがまち魅力アップ応援事業補助金交付審査調書」

「特色あるまちづくり応援事業（市民活動団体対策）選考要領」

より事務局から説明

【主な質疑】

委員：事業内容がここに書いてあるので、細かいところかわからない場合は聞くというとか。

事務局：出てきた申請書類を事前に皆さんにお送りする。

委員：申請するともらえるという認識の人も多いと思う。本当に魅力アップになるのか疑問に感じる事業もある。継続性があるかどうかの問題もある。

委員：今回から最高得点が項目ごとに違うということに注意したい。これまで採択された、わがまち魅力アップ応援事業の再検討する場を、どこかで設けなければいけないのではないかと。一度中央地域で審議して認められなかったものが、他で採択された例もあり、ここで審議することの是非が問われると思う。検証する場を持つべきだと思う。

会長：これについては、今後、事務局で統一見解を出して欲しい。

(3) その他

- ・中央地域の課題について

4 連絡事項等

次回会議開催について

平成23年3月14日（月） 開催予定

平成23年4月20日（水） 開催予定

閉 会